

2022 SUMMER

MEITOKU JOURNAL

●めいとくジャーナル

POWERED BY MEITOKUKAI

特集 My Work Style vol.1

仕事の流儀

THANKS FEED BACK

これまでの“チャレンジめいとくの里”でのお仕事を振り返っていただきました！

クラスターの現場から

対応にあたった職員の現場の声を聞きました。

PICKUP!
▶ ゆめくらしワークス事業部

KIRARI★BITO
キラリ人

FACE
新しく入職しました！

ご利用者様が 笑顔になる日常を



守本 丈二

ケア・ハピネス
生活支援員
リーダー

4年前、ケア・ハピネスのらふ支援員として配属されました。今でもその時を思い出すと初々しい自分の姿が思い出され、ドキドキします。そんな頃から「ご利用者様が笑顔になる日常を」という気持ちを変わず大切にしています。どういう時に笑顔が見られるのかを考え、接するようにしています。

そして、らふ支援員として働く中で思ったことがあります。らふのご利用者様には身体的な麻痺がある為、なかなか動けない方や筋力が落ちてしまったり、少しずつ体の可動域が狭まったりする可能性がある方がいます。障がいの影響で新しい経験を得にくい方もいらっしゃると思います。大好きならふのご利用者様の笑顔が多くなる将来が来てほしい…。そのためには「ご利用者様の強みを伸ばしていく」と「ご利用者様に様々な経験を得ていただく」ことが大切と思い、モットーにしながら支援を行っています。らふのご利用者様のAさん。Aさんの腕を元気に動かしたり、支援員の声かけに対し返答されたりしま

す。この強みを伸ばしたい！とたくさん挨拶と声かけをしました。また、他の人でも挨拶しやすいようハイタッチして挨拶し、可視化しました。少しずつAさんの声が良く聴こえるようになったある日。ご家族からの連絡帳に「よくしゃべるようになりました」と書いてありました。嬉しさが湧いてきたのを今でも覚えています。

また、Bさんという方がいます。Bさんは「変化」が苦手で、普段と違うことがあると驚いてしまいます。Bさんの気持ちを受容しながら、Bさんが好きそうな変化をわざと提供しました。失敗ばかりでしたが、少しずつBさんも変化を受け入れてくださいました。その中でBさんのお母様から「少しずつ許容範囲が増えたみたいです。取り組みが少しだけど実ったかなと嬉しくなりました。このような嬉しさや達成感を味わえることが私の原動力となっています。これからも皆さんが笑顔で強みを生かしながら、様々な経験をえられるよう関わっていきます。

仕事の流儀

Vol. 1

My Work Style

縁あってめいとくの里の通所で働くことになりました。仕事を始めたころは、障がいを持つ人に接したことがなかったのでご利用者様のそれぞれの独特の行動に戸惑ってしまっていた。支援の経験も知識もなかったのも、どう接してよいかもわからない状態でした。そんな私に対して、名前を聞いてこられる方や、ニコニコしながら近づいてこられる方がいて、受け入れられている気がして随分救われたものです。

そこで何か自分の指針となるものがないかと思い、同業職の弟からアドバイスをもらいました。「言葉が話せない人は、体全体で相手を知ろうとする。職員同士の会話にも注意を向けている。表面的な接し方をすればすぐに察知する。」これを聞いて自分を取り繕ったり、自分に嘘をつかないように気を付けようと思えました。今までの生き方を試されているようです。

職場では、職員や先輩スタッフに具体的な支援を教してもらい、ミニ研修を受け、会議に参加し、支援に関する知識を少しずつ学んでいます。勉強することはまだまだ沢山あります。全体的にお互いを思いやり助け合う雰囲気があり、摩擦が生じて

も亀裂までにはならず収まります。通所部では楽しいイベントがいろいろと行われます。クリスマス会などの季節の行事、スポーツ大会、ダンス、おやつ作り、買い物、テイクアウト弁当など若い職員やスタッフ達の発想力のおかげで、楽しく盛り上がりています。ご利用者様とイベントに参加していくうちに、徐々に気持ちや表情が読み取れるようになってきました。

支援によって、落ち着かれたり、表情が和らいだり、ご利用者様が以前よりイベントに主体的に参加されるようになったり、小さな変化でもあると嬉しく思います。少しの継続的なかわりと、変化が起こるまでの待ち。こちらが待ち切れずに動くと思わず失敗しました。辛抱強く待った後の喜び。結果が芳しくない場合は軌道修正して待ち。喜びの一つ一つがやりがいになっていきます。おひとりおひとりが、めいとくの里にいたいと思ってもらえるように、何ができるか、どのような支援をしたらいいかを考えながら、自然体で接し、ともに時間を過ごしていけたらと思っています。

自然体で接する。



三嶋 由基

めいとくの里 通所部
生活支援員

ご婦人の優しい声掛けに 覚えた違和感



園田 英樹

熊本市障がい者相談支援センターチャレンジセンター長

障がい福祉の仕事についてしばらくした頃のこと、通所施設に勤務していた時のことです。現在のように三障がい一元化（この言葉ももう古いですが）されていない時代で、ご利用者の方は皆さん知的障がいのある方ばかりでした。当時は振り返ると私は「仕事“をしていてというよりも、皆さんと一緒に行動している“という感じだったような気がします。畑作業を一緒にする、木工作業を一緒にする、昼休みは一緒に散歩する、カラオケを一緒に歌うという感じでした。いつものようにご利用者の方と一緒に交通センター（現在のサクラマチクマモト）、岩田屋近辺で買い物をしていたときのこと。通りがかりのご婦人から『あなた若いのに立派ねえ、この方達も精一杯、一生懸命生き

てるものねー』と声を掛けられました。ご婦人に軽く会釈をして買い物を続けたのですが、「一緒に買い物をしていただけの自分は立派なのか？普通に買い物をしていただけのご利用者の方々は、精一杯、一生懸命に生きているように見えたのか？普通に歩き、普通に買い物し、喫茶店でのコーヒーを楽しみに移動をしていただけだったのだが…。ご婦人の所作や眼差し、声掛けに悪意はなく、むしろ好意的で優しいものだったと記憶しています。このとき覚えた違和感が障害のある方の理解・啓発について考えるスタートになったのかも知れませんが、あれから20年近く経ちますが、多様性の時代と言われる世の中になり、様々なメディアでも障がいについて触れる機

会も増えているように思います。

現在、熊本市障がい者相談支援センターチャレンジでは基幹相談支援センターとして、地域への障がい理解・啓発にも力を入れており、【障がい者サポーター研修】の開催もおこなっています。これは知的障がいのみでなく、様々な障がいのある方が地域で暮らし、いく際に、さりげなく見守り、声掛け、ちょっとした支援をしていただける地域を作る取組みでもあります。（障がいがある方が住みやすい地域は、高齢者もその他の住民も住みやすい、安心した生活ができる地域ということになります）

チャレンジめいとくの里やケアハピネスで直接ご利用者の方と関わる機会は減りましたが、大好きな皆さんが将来においても一緒に歩いてくれる、福祉の支え手が継続して確保できるよう、地域の皆様への発信、地域作りも頑張っていきたいと思っています。

※精一杯、一所懸命の対比として「普通」という言葉を使いましたが、「普通」の概念も難しく、当時感じた普通は「ただ単に」という意味合いです。

THANKS FEEDBACK

大学生のパートスタッフの横山陸渡さん。6月で退職することになり、これまでのチャレンジめいとくの里でのお仕事を振り返っていただきました。

横山さん
ありがとう
ございました。

Q1. いつから何年働いていますか。

ちょうど2年ぐらいお世話になっています。

Q2. 学生生活とお仕事の両立は大変ではなかったですか？

授業がない日の空いた時間に来ていたため、大変ではありませんでした。他のアルバイトだと急なシフト変更などがありますが、めいとくではそういうものがなかったため、働きやすく非常に助かりました。夕方6時から出勤し、最初は入所部に入りHさんの盗食の見守りをしました。特に印象に残っている方がいらっしゃって、さん（男性）との関わりを多く持てたと感じています。Sさんいつも横に座っておられました。

Q3. 生活支援のお仕事と、芸術学部という事でアート活動にも参加されていましたが、どんな活動をされていましたか？

教えるというよりは、画材を提供してご利用者様ご本人の意向に沿い、一緒に絵を描いたり紙粘土で創作したりしていました。活動する中で、自分の中で決めていたことがあり、色を必ずご利用者さんに選んでもらうということを心がけていました。ご利用者様のさまざまな作品を通して、インスピレーションを頂き刺激をもらっていました。

Q4. 生活支援の場面で思い出に残っていることは？

入所で、入浴介助のときに片付けをする際、以前から見ていたご利用者様が一緒に手伝ってくれたことです。通所・入所、両方に勤務してたのですが、ドライブに行った先でみなさんとアイスを食べたことも思い出に残っています。

Q5. 明徳会は働きやすかったですか？やりがいはありましたか？

受験をするために、2ヶ月程お休みを頂いたんですが、長期的にお休みを頂ける面でも、とても融通を聞いて頂き働きやすかったです。お陰で受験に集中することができました。

Q6. 今後について教えてください。

東京芸大を目指して、神奈川県湘南の美大専門予備校に行く予定です。将来は作家になりたいです。好きなことをして働けたら最高です。





検体採りをする看護師と施設長



クラスタの現場から

未だ猛威を振るう「新型コロナウイルス」
今年の3月に、めいとくの里でも
クラスタが発生した。
法人あげてサポート体制をとるなか
対応にあたった職員の、
「現場の声」を聞いてみた。

思い出しただけで
いろんな感情が混じり
涙が出そうになります。

今年の3月にめいとくの里で新型コロナウイルスのクラスタが発生し、明徳会では全事業所を閉所して、対応にあたりました。私も普段はケア・ハピネス勤務ですが、めいとくの里で陽性者の対応をしました。

勤務初日すでに陽性のご利用者様が多くいらっしゃいましたが実感がありません、その日のうちにさらに新たに陽性になったご利用者様が数名レッドゾーンに移動してくるなど、バタバタと1日が過ぎました。

普段は元気な方がベッドから起きない、高熱、咳が止まらないといった様子を見てきつさが伝わり、またグリーンゾーンのご利用者様に感染させたらいけないという緊張感や、毎日感染者が増える状況がいつまで続くのだろうという先の見えない不安な気持ちで過ごしていました。

そんな中、ご利用者様が「職員が大変だから私がトイレ掃除しておくね」と言ってくれたり、レッドゾーンから出ようとする方に対して別のご利用者様が「コロナがなくなったら出ようね」と優しく声をかけて下さったり、1日中情緒不安定だったご利用者様がその日の終わりに「本当は一緒に話したかったよー！」と職員に言われたり…他にもたくさんのエピソードがありますが、



今思い出しただけでいろんな感情が混じり涙が出そうになります。ご利用者様も体調の変化に加えていつもと違う生活、違う支援員などのストレスできつい期間だったろうと思います。

職員も事業所関係なくお互いに指示を出して声を掛け合ったり、体調を気遣いあったり、どうすれば円滑に回していくことができるか話し合ったり、たくさんコミュニケーションを取りながら対応しました。職員同士の協力があって乗り越えられたことは自信を持って言えると思います。

だんだんと規制が緩和されつつあるコロナウイルスですが、まだこの先もどうなるかわかりません。ご利用者様が早く元の生活に戻れるよう、また外出やイベントなど安心して参加できるよう願って支援を続けていきたいと思えます。

●ケア・ハピネス

生活支援リーダー 山本 志織

PICKUP!

ゆめくらし ワークス 事業部



ゆめくらしワークス事業部は、周りは緑に囲まれ、自然豊かで静かな環境の中、明るく清潔感のある建物で就労移行、就労定着、自立訓練生活訓練、就労継続支援B型の4つの福祉サービスを提供する働く生活を支援・応援する事業所です。今回は、この4つのサービスの中から自立訓練(生活訓練)についてご紹介させていただきます。

自立訓練(以下生活訓練)は標準利用期間2年の有期限の福祉サービスで、障がいのある方が自立して日常生活を送ることができるよう、生活能力を身につける場所です。

コミュニケーション、生活リズム、家事や金銭管理など、日常生活を送っていく中で必要とされる力はたくさんあります。しかし、それらのことに対して『やり方が分からない』『やったことがない』などの理由でうまくいかなかったり、行動を起こすことへの不安が強かったりしていた方々が少しずつ自信を付け、それまでの生活が変化していく姿をこれまで多くみてきました。

例えば、自宅生活が長く散髪を家族に頼んでいた方が、セミナーで学んだことを機に近くの理髪店に行けるようになった。また、次回プログラムでする予定のお菓子を自宅で事



前練習するようになった。他にも家事を家族任せだった方が、調理プログラムでやった料理を自宅で家族に振舞ったと話してくれたことなどもありました。

どの方も生活訓練のプログラムで経験をして、自分に合ったやり方やできる方法を学んだことで『やれるかも』『やってみよう』という気持ちになり、行動が変わっていかれたのではないかと感じています。

また、新たな取り組みの一つとして、プログラムの一つであるコミュニケーションやストレスマネジメントなどについて学ぶセミナーを自宅でも受けられるように毎週月曜と木曜の午前にオンライン受講を始めています。利用契約を結び、ネット環境が整っている方が対象となりますが、通所で通うことにもまだ不安がある方にとっては、参加しやすいプログラムとなっているのではないのでしょうか。

このように一人ひとりの状況を踏まえて、常に「必要最小限の手厚い支援」を考えながらサービスを提供しています。見学・体験のご希望の方は、お問い合わせのうえご相談ください。



●ゆめくらしワークス
サービス管理責任者 福田 悟

KIRARI BITO キラリ人

①最近ハマっていること ②モットー ③自分を動物に例えると

初めまして！モットーは日々勉強です！



いけだだいすけ
池田 大輔
めいとくの里(入所)・生活支援員



初めまして、池田大輔です。福祉未経験から明徳会で勤務を始めてもうすぐ2年になりますが、まだまだ分からない事ばかりです。色々と貴重な体験を通して少しずつですがご利用者様とも職員の方とも打ち解けていきたいと思っています。

- ①最近ハマっている事は部屋の掃除です。コロナで消毒を意識するようになってから整理整頓していた方が消毒もしやすいなと思ったのがきっかけです。
- ②モットーは日々勉強です。明徳会で働き始めてから初めての体験が多く、勤務ごとに新鮮な思いです。支援する上で様々な考えがあり、それぞれが人を思いやっているのが伝わってきます。
- ③動物に例えたら犬です。組織に属し行動する事に向いていると思っています。

産休・育休から復帰しました！



みやもとともこ
宮本 朋子
ケアハピネス(そよかぜ)・生活支援員



産休・育休をとらせていただき、今年度の4月からケア・ハピネスのそよかぜに配属になりました。めいとくの里で3年、ケア・ハピネスでの勤務は4年目になりました。今は子育てをしながらでご迷惑ばかりかけていますが、周りの皆様に支えていただき楽しく働くことができています。

- ①最近、ミラーレスの一眼カメラを中古で買いました。1歳半になる息子のふとした時の様子や、出かけた時に写真を撮ることにハマっています。大切なデータが増えるばかりでどう保存をしようか考え中です。
- ②モットーと言いますか…入職1年目の時、リーダーに言われた「人に頼られる人になりなさい」という言葉を大事にしています。これは一人で全部をこなさなければ…と、当時いっぱいいっぱいになっていた自分が助けられた言葉です。「頼られる人」にはまだまだなれていませんが、人に頼ることは恥じることではなく支援をしていく上でとても必要なのだと感じました。それからはいただくアドバイスや手助けを素直に受け取るように心がけています。今後は今まで頼って助けられた分を、周りの方にお返しできるよう日々精進していきたいと思っています。
- ③家でのぐうたらして動かない様子を見た旦那に「ハシビロコウみたいだね」と言われました。ケンカになりました。(ハシビロコウ、動かない事で有名な鳥です。検索してみてください)



新しく入職しました!! Let's! interview

- ①最近ハマっていること
- ②モットー
- ③自分を動物に例えると



初めまして、明石俊博です。初就職でめいとくの里に来ました。色々と初めてのことが多く、分からない事も多いですが、頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

- ①休みの日のドライブです。ネットでカフェや美味しい店を見つけてはそこを目的地にバイクで走っています。
- ②「なるようになる、全力を尽くせ」です。初めてのことで覚える事も多く、失敗もありましたが、それでも努力することでよい結果が生まれると思います。何とかなると信じて、日々努力してまいります。
- ③猫だと思えます。気まぐれでマイペースなところがあると友人に言われます。



初めまして。岩野誠です。以前も障害者施設で働いていました。覚える事も沢山ありますが頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

- ①最近石チョコにはまっています。小さい時に食べてそれから食べることが無かったのですが売ってあるお店を見つけたので疲れた時に食べます。
- ②モットーは「夢を見ることが出来ればそれをかなえる事が出来る」です。ウォルトディズニーの言葉ですが自分は無理だからと夢を見ることをしなかったこともある為、夢を見つけそれに向けて努力しようと思わせる言葉です。
- ③カメレオンかなと思えます。その場の雰囲気や状況をみて的確に合わせることが出来るからです。人見知りとかではなく社交的とよく言われるので強みを活かして頑張りたいです。



初めまして。伊藤知美です。約6年間高齢者施設で働いてきました。障がい者の方と接する機会もなく分からない事ばかりですが宜しくお願い致します。

- ①最近釣りにハマってます。1人で行く程ではないですが釣れた時嬉しいので行けるタイミングを日々考えてます(笑)
- ②モットーと言えるか分かりませんが映画ドラえもんでのしずかちゃんパパのセリフ「人の幸せを願い、人の不幸を悲しむ事が出来る」というのがあり、凄くグッときました。そんな人間になりたいと思いました。
- ③猫...?と思えます。人見知りの所もあるけどコミュニケーション力はあると思えます。知り合いにはマイペースと言われるのでビックリします。人見知りが発動する時もちょいちょいあるので沢山話しかけて頂けるとめちゃくちゃ話します(笑)宜しくお願い致します!!



社会福祉法人 明徳会
SOCIAL WELFARE COMPANY
MEITOKUKAI

ゆめくらしワークス事業部

- 就労移行支援 ●就労定着支援
 - 自立訓練(生活訓練) ●就労継続支援B型
- (訓練系直通)
TEL:096-215-9103 FAX:096-273-6343
✉ meitokunosato-works@meitokukai.jp

障がい者支援施設 チャレンジめいとくの里

- 生活介護 ●施設入所支援
 - 短期入所 ●日中一時支援A型
- 〒861-5503 熊本市北区明徳町707番地1
TEL:096-215-9101 FAX:096-245-2344
✉ c.meitoku@meitokukai.jp

熊本市障がい者相談支援センター チャレンジ

- 障がい者相談支援事業所 ●一般相談支援
 - 特定相談支援 ●障害児相談支援
- 〒861-5516 熊本市北区西梶尾町451番地1-102号
TEL:096-215-9500 FAX:096-215-9501
✉ soucha@meitokukai.jp

ゆめくらし事業所(共同生活援助)

オレンジハウス

〒861-5503
熊本市北区明徳町948番地1
TEL:096-223-5161
FAX:096-245-5951

アクアテラス

〒861-5503
熊本市北区明徳町951番地1
TEL:096-245-5522
FAX:096-245-5520

障がい福祉サービス事業所 ケア・ハピネス

(生活介護(通所型))

〒861-5512 熊本市北区梶尾町1379番地3
TEL:096-245-6611 FAX:096-245-3399
✉ happiness@meitokukai.jp

毎日更新のデジタル広報誌! 明徳会の各 SNS を是非チェックしてください。

CHECK!

- 明徳会 facebook
http://www.facebook.com/meitokukai
- 明徳会 instagram
http://www.instagram.com/meitokukai
- RogCafe instagram
http://www.instagram.com/rogcafe

- ケア・ハピネス instagram
http://www.instagram.com/care.happiness
- ケア・ハピネス TikTok
@care_happiness
- ゆめくらし facebook
http://www.facebook.com/yumekurashiworks

- めいとく日和 BLOG
http://www.ameblo.jp/meitokukai
- 熊本市障がい者相談支援センターチャレンジ
@csu2434m
- メイアート instagram
http://www.instagram.com/meiart41



「障がい者サポート企業・団体」として認定されました。



「フライト企業」に認定されました。

OFFICIAL WEBSITE

http://www.meitokukai.jp

